

意識・呼吸がなかったら
次の手順で心肺蘇生法を行きましょう！！

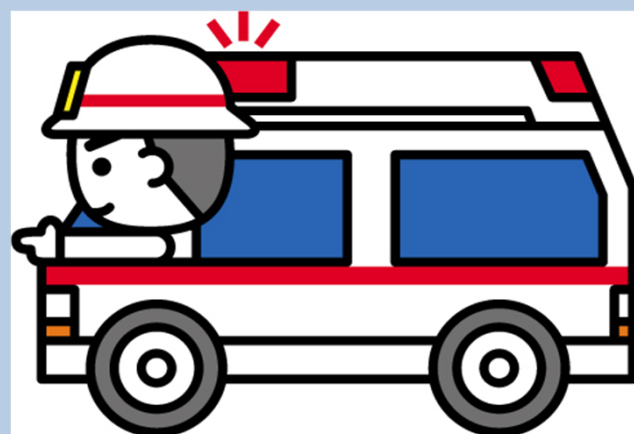
救命処置（心肺蘇生法の手順）

① 安全確認をする。

② 反応の確認をする。

反応なし

ただちに大きな声で助けを
呼び119番とAEDの依頼
をする。



③ 普段どおりの
呼吸はある??

普段どおりの
呼吸あり

容態を見ながら、協力者や
救急車を待つ。

普段どおりの呼吸なし

※死戦期呼吸とは??
心停止直後にみられる場合がある、
しゃくりあげるような呼吸で、
普段どおりの呼吸でない。
※判断に迷ったら、胸骨圧迫を開始する。

④ 胸骨圧迫を開始する。

胸骨圧迫のポイント
強さは傷病者の胸が約5cm沈むまで押す。
小児・乳児は傷病者の胸の厚みの1/3を押す。
速さは1分間に100から120回のリズムで押す。
中断時間は最小限にとどめる。

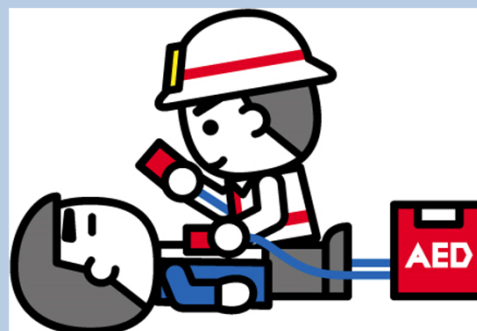


胸骨圧迫と人工呼吸は
30:2の割合で行う。

※人工呼吸は必ずやるの??
感染等の恐れや行う意思がない場合は、
胸骨圧迫のみを行う。
その場合は、30:2の割合は省略してよい。

⑤ 人工呼吸を行う。

⑥ AEDを使用する。



※AEDを使用するタイミングは??
到着したら、ただちに使います。
その後は、音声ガイダンスに従って、
救急隊が到着するまで落ち着いて、
行動しましょう。

心肺蘇生法(④から⑤)を傷病者が普段どおりの呼吸または
身体の動きが認められるまで行う。

救急隊へ引継いでください。

普段どおりの呼吸の確認方法



傷病者のそばに座り10秒以内で、
胸やお腹が動いているかを確認する。



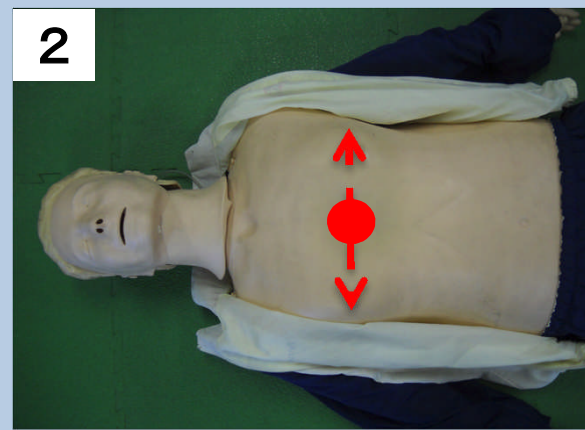
胸骨圧迫の正しいやり方

1



1 両肘はまっすぐ伸ばし胸を張り真上から垂直に体重をかけ押す。
※両腕を斜めにしたり、曲げたりしない。
2 押す位置は、胸の左右真ん中にある胸骨の下半分を重ねた両手で胸が約5cm沈むまで押す。

2



人工呼吸の正しいやり方

1



1 人工呼吸を行うため、頭を後ろにのけぞらせ、気道確保をする。
2 気道確保した状態で、鼻をつまみ、胸が膨らむ程度、約1秒かけて吹き込む。
※吹き込みは2回までとし、ただちに胸骨圧迫を開始する。
※感染等の恐れや行う意思がない場合は、省略してよい。

2



AEDの取扱い方法

1

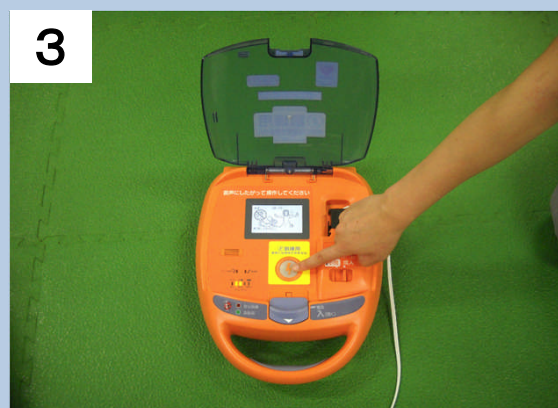


1 心肺蘇生中にAEDが到着したら、傷病者の横に置き、電源を入れましょう。音声ガイダンスが流れるので、指示に従いAEDパッドを傷病者の胸部に直接しっかりと貼り付けます。
自動的に心臓の動きを調べるので、この時は胸骨圧迫を中断し傷病者から離れましょう。
2、3 電気ショックが必要であれば、AEDが指示しますので、傷病者に触れていないことを確認して電気ショックボタンを押します。
4 その後の音声ガイダンスに従い、ただちに胸骨圧迫を開始する。

2



3



※AEDが電気ショック不要のガイダンスをしたら??
普段どおりの呼吸または身体の動きが認められなければ胸骨圧迫を開始する。

4

